「安心して生活・来訪できるまち」実現に向け進化するMaaS「おでかけこもの」（菰野町地域公共交通会議）

町民・来訪者の「おでかけ」利便性向上を目的に、菰野町MaaS「おでかけこもの」は令和2年1月スタート。今まさに重要視される、町民・来訪者の「安心」感を高めるため、オンデマンド交通の「事前決済」、コミュニティバスの「混雑状況表示」を新たに提供するとともに、通学者の乗車時顔認証とみまもり通知も導入。新しい生活様式と「おでかけ」利便性向上を「MaaSの進化」で両立します！

【協議会の構成（地域公共交通会議の部会として）】
菰野町、近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)、(有)尾高＜タクシー事業者＞、御在所ロープウエイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域連携部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究科 *〈システム構築〉(株)NTTドコモ東海支社*

【地域の交通課題】
- 人口約4万人。集落が分散、公共交通不便地域広がる。
  →コミュニティバス網は多路線低頻度
- コミュニティバス運行効率化ときめ細かな公共交通サービス実現を両立すべく、平成30年から公共交通網再編実施。オンデマンド乗合交通を運行開始し、順次エリアを拡大
  →令和2年に全域運行へ。コミュニティバスは幹線に集約し頻度増加。御在所岳・湯の山温泉の観光客の周遊可能に
- 公共交通網再編の成功に重要な、鉄道・バスとオンデマンド乗合交通の円滑な乗継を実現すべく、菰野町MaaS「おでかけこもの」運用開始。AI予約・配車システムを内包。
  →乗合率向上。利用者数増加にも貢献。

【連携するサービス】
全てが菰野町MaaS「おでかけこもの」の機能追加となる
・子どもの乗降時にみまもりメールを保護者に配信。
・コミュニティバスの乗車数を取得、位置情報とともに発信。
→混雑を避ける行動を促し、安心して乗車していただく。

【実験内容】 好評の菰野町MaaS「おでかけこもの」を、利用者・町民の「あんしん」のためさらに進化！

（1）事前決済（キャッシュレス）機能 （まずオンデマンド乗合交通に）
・「おでかけこもの」で可能なオンデマンド乗合交通の検索・予約時に決済も可能に。
・NTTドコモが提供するd払いを導入。

（2）乗車時顔認証と子どもみまもりシステム
（まずコミュニティバスに）
・車内に設置するタブレット型端末によって、利用者（通学小学生）が定期券購入者であるかどうか判断。
・バス乗降時に利用者の家族へメール等で配信。

（3）車内密集度表示
（まずコミュニティバスに）
「おでかけこもの」上に新たにバスロケーション表示を行うとともに、車内密集度状況も表示。安心して利用していただくための情報提供。
※「おでかけこもの」は他地域でも容易に適用可能なシステムとして作成

【本格的な導入に向けた検証項目、目標値】
- 決済機能　オンデマンド乗合交通（10人/月）
- 顔認証・みまもりシステム　アンケートによる満足者割合　80%
- 密集状況アクセス数（50アクセス/月）